2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月13日

上場会社名　株式会社ｅＷｅＬＬ　　上場取引所　東
コード番号　5038　ＵＲＬ　https://ewell.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）中野　剛人
問合せ先責任者　（役職名）執行役員管理本部長　（氏名）広瀬　隆章　ＴＥＬ　06（6243）3355

配当支払開始予定日　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：有（機関投資家・個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,067	24.0	1,454	21.6	1,465	21.9	1,032	24.0
2025年12月期第３四半期	2,473	33.0	1,195	45.2	1,202	45.7	832	43.7

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	68.12	67.97
2025年12月期第３四半期	54.99	54.51

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,591	3,905	85.1
2025年12月期	4,283	3,375	78.8

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　3,905百万円　2025年12月期　3,375百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	0.00	ー	16.00	16.00
2026年12月期	ー	0.00	ー		
2026年12月期（予想）				21.00	21.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,277	26.1	1,927	25.4	1,937	25.3	1,329	22.2	87.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	15,272,522株	2025年12月期	15,251,838株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	140,983株	2025年12月期	242株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	15,156,562株	2025年12月期３Ｑ	15,138,328株

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算説明会および決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2026年11月13日に機関投資家および個人投資家向けに第３四半期決算説明会を開催する予定です。
決算補足説明資料はＴＤｎｅｔで同日開示しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 6
（セグメント情報等の注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期累計期間（2026年１月１日から2026年９月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調が続きましたが、中東情勢や自然災害の影響、物価上昇等には引き続き留意が必要な状況となりました。

当社の主たる顧客である訪問看護ステーションを取り巻く事業環境におきましては、高齢化の進展に伴う在宅医療ニーズの高まりに加え、地域包括ケアシステムの深化や医療・介護連携の強化が進められております。また、医療従事者の確保や業務負担の軽減が課題となる中、国においても在宅医療の効率化に向けたデジタル化およびICT導入の促進が進められており、ICT・AIを活用した業務効率化や生産性向上の重要性が一層高まっております。

このような事業環境のもと、当社は、Missionである「ひとを幸せにする」の実現に向け、訪問看護に従事する方々が利用者と向き合う時間をより多く創出し、在宅療養を必要とする人々が安心して暮らせる社会の実現に貢献するため、主力サービスである訪問看護専用電子カルテ「iBow」を中心に、訪問看護ステーションの業務効率化および経営支援に資する各種サービスの提供を推進いたしました。

当第３四半期累計期間においては、市場シェア19.2%である「iBow」と常時・自動連携する「iBow AI訪問予定・ルート」の有償提供を開始するなど、AIを活用したサービスの拡充を進めました。

また、訪問看護事業者の業務効率化のみならず、経営管理の高度化を支援する機能・サービスの充実に取り組むことで、訪問看護現場のDXおよび生産性向上から訪問看護ステーションの経営支援まで幅広く推進しております。

これらの取組みの結果、主力サービス「iBow」の新規顧客獲得が順調に推移するとともに、低い解約率を維持したことなどにより、売上高は順調に推移いたしました。

この結果、当第３四半期累計期間の経営成績は、売上高は3,067,567千円（前年同期比24.0%増）、営業利益は1,454,352千円（同21.6%増）、経常利益は1,465,176千円（同21.9%増）、四半期純利益は1,032,500千円（同24.0%増）となりました。

当社は、訪問看護ステーション向けサービス提供事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。売上高をサービスカテゴリー別に示すと、次のとおりであります。

（単位：千円）

会計期間	売上高							営業利益
	クラウドサービス			BPaaS		その他	計	
	iBow	iBow レセプト	その他	iBow事務管理代行サービス	その他			
当第３四半期累計期間	2,043,642	253,165	320,592	437,556	3,000	9,611	3,067,567	1,454,352

（２）当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第３四半期会計期間末における流動資産は3,933,878千円となり、前事業年度末に比べ343,719千円増加しました。これは主に、四半期純利益の増加等により現金及び預金が191,961千円増加、売上高の増加に伴い売掛金が116,266千円増加、流動資産「その他」が22,647千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は657,438千円となり、前事業年度末に比べ35,885千円減少しました。これは主に、減価償却等により有形固定資産が21,037千円、無形固定資産が14,382千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,591,317千円となり、前事業年度末に比べ307,834千円の増加となりました。

(負債)

当第３四半期会計期間末における流動負債は582,610千円となり、前事業年度末に比べ223,095千円減少しました。これは主に、流動負債「その他」が154,289千円減少、未払法人税等が131,433千円減少した一方、賞与引当金が46,463千円増加したこと等によるものであります。固定負債は102,982千円となり、前事業年度末と概ね同水準で推移しました。

この結果、負債合計は685,592千円と前事業年度末に比べ222,841千円の減少となりました。

（純資産）

当第３四半期会計期間末における純資産は3,905,725千円となり、前事業年度末に比べ530,675千円増加しました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が1,032,500千円増加したこと、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行および新株予約権の行使により、資本金および資本準備金がそれぞれ21,098千円増加した一方、自己株式の取得により自己株式が299,995千円増加したこと、並びに配当金の支払いにより244,025千円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の78.8%から85.1%となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期の業績予想につきましては、2026年２月13日の「2025年12月期　決算短信」にて公表した業績予想から変更はありません。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第３四半期会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,857,496	3,049,457
売掛金	634,557	750,823
前払費用	62,821	76,775
その他	41,880	64,528
貸倒引当金	△6,596	△7,706
流動資産合計	3,590,159	3,933,878
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	197,010	172,938
その他（純額）	39,105	42,139
有形固定資産合計	236,115	215,078
無形固定資産	182,647	168,264
投資その他の資産		
その他	280,969	285,687
貸倒引当金	△6,408	△11,591
投資その他の資産合計	274,560	274,095
固定資産合計	693,323	657,438
資産合計	4,283,483	4,591,317
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,526	69,690
未払法人税等	332,103	200,670
賞与引当金	－	46,463
その他	420,075	265,786
流動負債合計	805,705	582,610
固定負債		
資産除去債務	102,728	102,982
固定負債合計	102,728	102,982
負債合計	908,433	685,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	426,767	447,866
資本剰余金	418,134	439,232
利益剰余金	2,530,723	3,319,197
自己株式	△575	△300,570
株主資本合計	3,375,049	3,905,725
純資産合計	3,375,049	3,905,725
負債純資産合計	4,283,483	4,591,317

（２）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	2,473,868	3,067,567
売上原価	519,581	725,490
売上総利益	1,954,287	2,342,076
販売費及び一般管理費	758,352	887,724
営業利益	1,195,934	1,454,352
営業外収益		
受取利息	2,627	6,298
受取手数料	2,711	6,446
その他	1,434	55
営業外収益合計	6,772	12,800
営業外費用		
支払利息	253	254
支払手数料	－	1,597
その他	22	123
営業外費用合計	276	1,976
経常利益	1,202,430	1,465,176
税引前四半期純利益	1,202,430	1,465,176
法人税、住民税及び事業税	368,285	428,625
法人税等調整額	1,718	4,051
法人税等合計	370,003	432,676
四半期純利益	832,427	1,032,500

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

当社は、訪問看護ステーション向けサービス提供事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第３四半期累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

当社は、訪問看護ステーション向けサービス提供事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年２月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式140,700株の取得を行いました。

この結果等により当第３四半期累計期間において、自己株式が299,995千円増加し、当第３四半期会計期間末における自己株式は300,570千円となっております。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	78,092千円	78,859千円

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。